

「学ぶ」ことができる町とはどんな状態の町ですか？

資料 8 - 6

- ・小中の教師が集中できる
- ・教職員が教育に集中できる
- ・質の高い(保育、教育、子育て)が出来る町
- ・学び合いができる町
- ・自己実現できる町
- ・図書館の蔵書数が多い
- ・教育施設が充実している
- ・小中学校での学びの楽しさを知る

- ・困り感が出せる町
- ・失敗や間違いを認めあえる町
- ・看板などで豆知識(お寺、施設全般)
- ・個人経営をしやすく
- ・学ぶ必要性が感じられる
- ・夏休みを利用した体験、図書館の利用
- ・学びたいと思える
- ・必要な情報に手が届く

幼児教育の充実

学校教育の充実

文化・芸能活動

学校の授業についていけない不安がある

学習と遊びの両立ができない

豊かな考えを持つ子どもへの教育が不足している

地域の文化、風習の継承ができない

地域の歴史を把握していない人が増加

日本の学力低下が進む

人権尊重社会の実現

青少年の健全育成

性(LGBTなど)への理解が不足している

大学生活で両親との関係、就職、交友関係に悩む大学生がいる

いじめが発生する恐れがある

学校内で集団生活への不安を抱える子どもがいる

不登校やひきこもりの子どもがいる

部活動の上下関係に悩む子どもがいる

学校生活における友達関係、学習関係の悩みがある

子育て支援(経済対策)

奨学金が不足しているため、修学意欲があるのに修学が困難

高校、大学進学時の経済的負担が大きい

習い事の送迎ができない

教育の格差がある(経済力で差が出る)

進学先の選定に悩む

受験、部活の取り組みに不安がある

進学や就学に悩む若者がいる

消防・防災

教育環境整備の充実

感染症対策

長期的に見て小中学校の教育環境が悪くなる

地元の学校がない

教育における感染症、自然災害時の対応(オンライン授業)の対応ができていない

生涯学習

スポーツの振興

退職後、生きがいが見つからない

老後の過ごし方が分からない

自己実現(資格チャレンジ)をするときの不安

人生の目的を探したり、稼ぐこと、新しい事業を起こすことなど、生きていくための教養が欠け、受験のための勉強になっている。